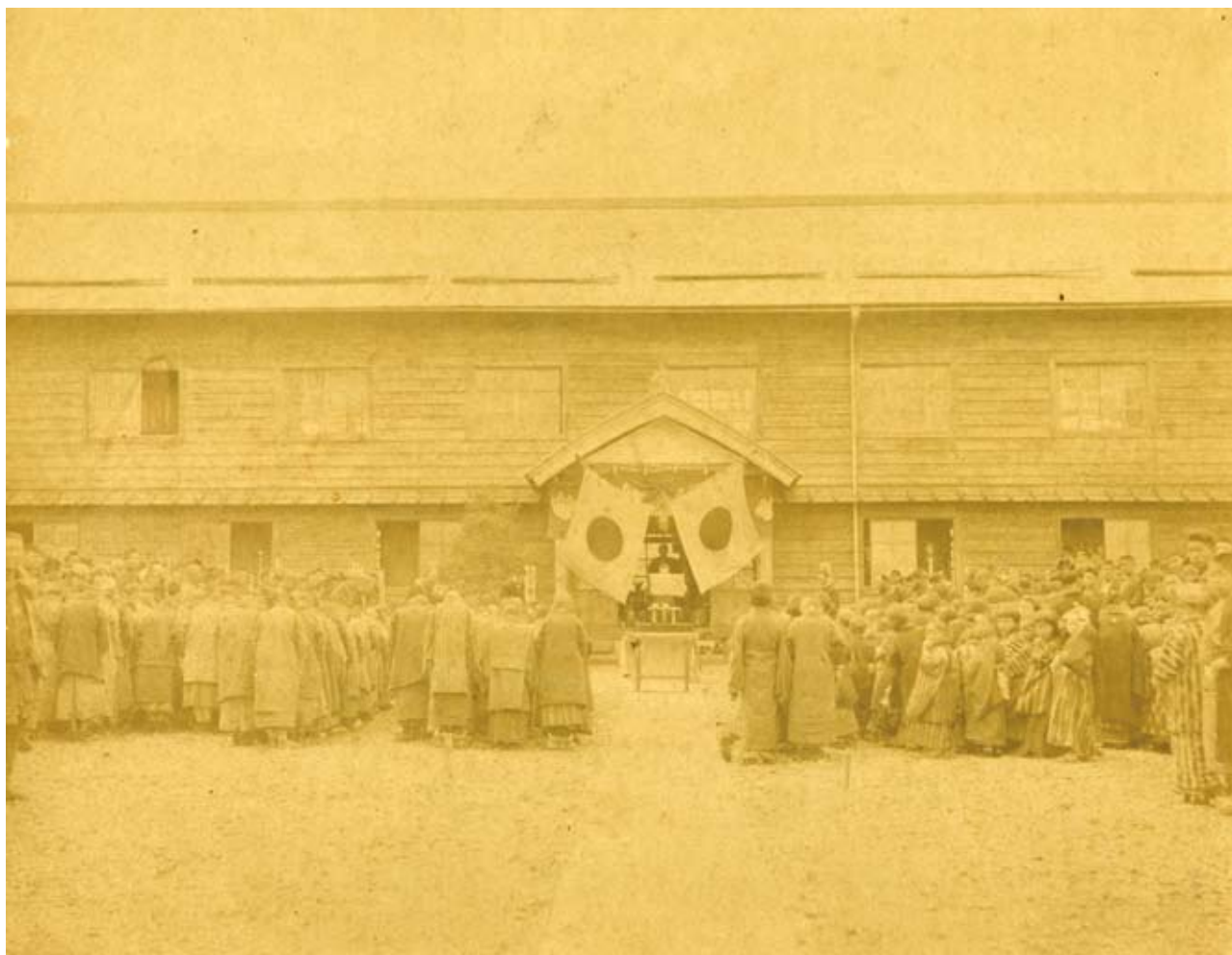


文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「(東郷小学校の新築落成式写真)」1902年(義江市郎右衛門家文書 A0181-00001(整理中))

第20号目次

特集「開館10年のあゆみ」-----	2
歴史的公文書紹介「ふくいの子育て保育所」-----	4
資料紹介「松平文庫とハナミズキ」-----	5
寄贈資料紹介-----	6
資料叢書編集中「福井藩士900家の幕末」-----	7
お知らせ-----	8

第20号

2012.12

福井県文書館

◆◆◆ 特集 ◆◆◆ 開館10年のあゆみ

公文書館としては都道府県で28番目に、県内では初めて開館しました。資料の目録をパソコンで検索できることが大きな特色の一つでした。



自主的な古文書読解グループの活動が始まりました。毎月第4金曜日に、15～20名程度が集まり、当館収蔵の古文書を中心に輪読しています。



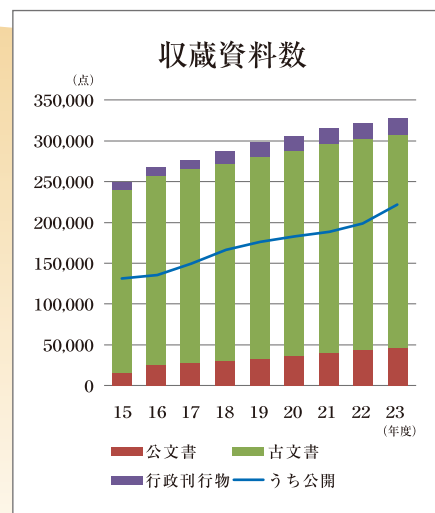
2003年
(平成15)
2月
開館

6月
開催
古文書入門講座を

2005年
(平成17)
7月
初めて出張授業を実施

2006年
(平成18)
4月
活動開始
古文書読解グループ

5月
閲覧室小展示を開始



開館以来、初めての講座となりました。その後も毎年1～2回開催され、現在では当館の一番人気の講座です。



文書館の資料に親しんでもらえるよう、月替わりで当館収蔵の公文書や古文書を紹介する原本展示を始めました。



福井市内の高校で、初めて出張授業を行いました。その後も小学校から大学までを対象に、学校との連携に力を入れています。



IPM*の観点から、薬剤によるくん蒸をやめ、二酸化炭素による殺虫処理を導入しました。これを機に、収蔵書庫の環境管理にも力を入れています。



目録公開の効率化をはかり、より多くの資料を閲覧していただけるよう、申込のあった歴史的公文書のみ、申込後に審査をすることになりました。

2013年(平成25)2月で開館10年をむかえます。この10年間、多方面からご支援いただきましたことに心から感謝申し上げます。



2007年
(平成19)

10月
公文書閲覧に
事前申込制を導入

2008年
(平成20)

4月
展示パネルの
貸出しを開始

2010年
(平成22)

4月
二酸化炭素殺虫
処理の導入

2011年
(平成23)

3月
「福井県行政資料
管理規程」改正

2013年
(平成25)

2月
開館十年を
むかえる



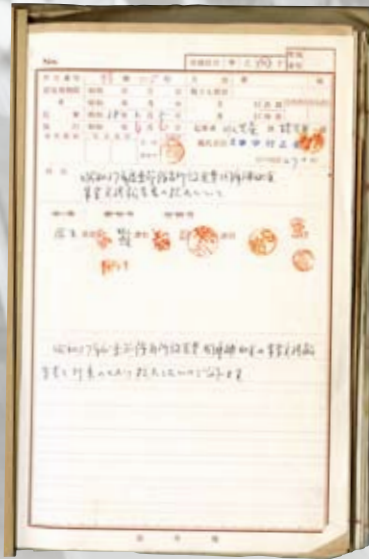
展示で使用したパネルや複製シートの貸出しを始めました。学校の授業や公民館の行事などのほか、病院や福祉施設での利用も増えています。



行政資料の送付先に文書館長が加わりました。これによって、文書館の行政資料の収集保存が、制度的に位置づけられました。

*IPMとは、化学薬剤だけに頼らず、複数の防除法を合理的に組み合わせることで生物被害をできるだけ回避し、制御する方法です。

◆◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆◆ ふくいの子育ての季節保育所



◀ ▲ 季節保育所 28705
厚生部婦人児童課
(1962年度)

季節保育所とは、農繁期に、乳幼児を保育するために設けられた施設です。共同作業や共同炊事とともに戦前から設けられており、1942年(昭和17)には、県下約1,900集落のうち、549か所で開設されていました。

戦後も引き続いて設けられ、1957年(昭和32)には「季節保育所設置要綱」が制定されて、国庫補助金が交付されることとなりました。

この公文書では、国庫補助のため、県が県下市町村に実施状況を調査し、その結果を取りまとめて国に報告した内容が綴られています。それによると、1962年度の県内の季節保育所の設置箇所数は、40市町村のうち15市町で春季106か所、秋季70か所(同一保育所でも、春季と秋季は各1か所として算定)、合計176か所でした。そのうち、設置がとくに多かったのは小浜市26か所、大野市22か所、勝山市21か所でした。また、この綴りには、国庫補助金の要件となっている県費補助に関する文書も含まれています。

文書館には季節保育所に関する公文書は1962年度から64年度のものしか保管されておらず、その後の季節保育所の推移をたどることはできませんが、67年発行の県の広報誌『県民グラフ』第49号によると、「農繁期には、ことしも県内168ヵ所で季節保育所がひらかれた」とあり、昭和40年代前半までは存在していたことがわかります。また、「寺や公民館、集会場などを臨時に利用し、保母さんや農協婦人会の人たちが当番制でおもひ役を引きうけたが、この季節保育所のおかげで、乳幼児をもつ農家の主婦は安心して田植に従事することができ、子どもたちも規則正しい日課のもとにさびしい思いをしないで農繁期を過ごすことができた」という記述もあり、季節保育所が農家の主婦たちの労働を支えていたことがうかがえます。

現在の福井県は、女性の就業率が日本一です。また、保育所待機児童数はゼロです。季節保育所は、こうした、ふくいの子育ての働く女性やその家族を支えてきた柱の一つとも言えるのではないのでしょうか。

参考文献：『福井県教育百年史』第2巻、『福井県史』通史編6、
『県民グラフ』第49号



▲ 灯明寺季節保育所 (1960年) 64901

◆◆◆ 資料紹介 ◆◆◆

松平文庫とハナミズキ

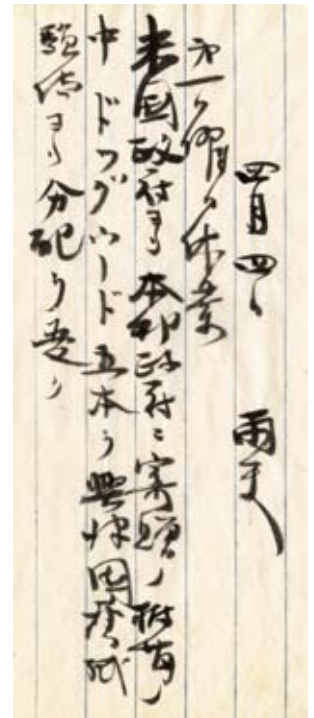
福井県には、全国的にみても珍しい民間の農業試験場がありました。松平家の当主だった松平康莊やすたかが1893年(明治26)に設立した、松平試農場しのうじょうです。

おりから今年、2012年(平成24)は、友好の証としてアメリカに桜が送られてからちょうど100年目にあたり、その3年後にはアメリカから返礼として日本にハナミズキが送られました。すでに『福井県立坂井農業高等学校創立八十周年記念誌』に収められた「ハナミズキのルーツ」でも明らかにされていますが、松平文庫にはこの返礼のハナミズキが試農場に分配されたことを示す資料が残されています。それは、「雑日記」と題された簿冊で、試農場に関する日誌のようなものです。

資料中にある「ドツグウッド」(dogwood)とはハナミズキおきつのことで、興津園芸試験場(農商務省農事試験場園芸部)から分配されたことがわかります。このハナミズキは、日比谷公園、小石川植物園など全国に分けて植えられたのですが、なぜ試農場に送られたのでしょうか。

試農場にハナミズキを分配したのは、興津園芸試験場の場長をしていた恩田鉄弥でした。恩田はアメリカに桜を送る際に尽力した中心人物であり、また試農場と深いかわりを持っていました。恩田と康莊はともにイギリス人化学教師エドワード・キンチの薫陶を受けており(熊澤恵里子「駒場農学校英人化学教師エドワード・キンチ」、また1915年(大正4)に試農場で行われた農産品評会の審査委員長を恩田が務めていました(『大正四年大礼記念農事功労者表彰農産品評会報告』(当館蔵)40000302)。後年のことですが、試農場の経営が厳しくなった際に、恩田から試農場に宛てられた手紙のなかには、「小生は、貴場の実情熟知仕り候故、御用これ有る場合は遠慮なく御申し越し下されたく」と記されています(『越前松平試農場史』)。このような資料から、試農場と恩田との間に強い信頼関係があったため、高い農業技術を持っていた試農場に大切なハナミズキが分配されたことが推測されます。このハナミズキは残念ながら枯死してしまいましたが、縁のある苗木が現在も県内で育っています。

第一日曜日 四月四日 雨天
米 政府 本邦 政府 二府 寄贈ノ
中 国 府 本 府 興 津 園 芸 試
場 ド ツ グ ウ ヲ 一 リ 配 ヲ 受 ク



▲「雑日記」(部分、1915年)
松平文庫 福井県立図書館保管



◀「雑日記」 松平文庫 福井県立図書館保管

この「雑日記」は、1908年(明治41)から21年(大正10)までのものが残されており、試農場での行事や、栽培されていた苗木に対する施肥の時期など、さまざまなことがわかる貴重な資料です。

◆◆◆寄贈資料紹介◆◆◆

複製本ができたものから公開しています。

◆福井新聞社文書(A0178)

福井新聞社は1899年(明治32)2月に創立し、8月に創刊しました。『福井新聞』は、81年(明治14)、89年、96年、99年と4次にわたり同名の新聞が発刊されており、現在の『福井新聞』は第4次のもので(4つの新聞はいずれも関係がありません)。

今回寄贈されたのは明治期の新聞49点です。中でも、『福井新聞』(第1次)の1882年(明治15)1月分がまとまってあり、当館で確認できた『福井新聞』(第1次)としては最も古いものです。



▲『福井新聞』第48号
A0178-00001(001)

◆藤島高等学校文書(A0192)

福井県立藤島高等学校は、福井藩校明道館(1869年(明治2)明新館と改称)、旧制福井中学校を前身とする学校です。その後、女子部の併設、独立(福井県高等女学校)を経て1948年(昭和23)に再び統合しました。

寄贈資料は33点。ほとんどが福井中学校の蔵書ですが、なかには越前松平家の蔵書である越国文庫や、明新館の蔵書印があるものもあります。



▲『語学自在 卷之二』
『西洋聞見録 卷之中』
A0192-00004・00028



◆松原信之家文書(A0135)

松原信之氏は、『越前朝倉氏の研究』『越前朝倉一族』などの著書をもつ地域史研究者です。寄贈資料は、1957年(昭和32)に出版された『若越城下町古図集』の原稿図など45点です。

◀「若越城下町古図集原稿図 第一図 北庄古図
(慶長19年)」(部分) A0135-00005

表紙写真「(東郷小学校の新築落成式写真)」1902年(明治35)

義江市郎右衛門家文書 A0181-00001(整理中)

足羽郡東郷村の東郷小学校(現・福井市東郷小学校)は、1902年(明治35)、新しい校地に2階建ての校舎を新築しました。落成式には、知事阪本^{さん}の助^{すけ}や視学官なども出席しました。写真は教育勅語奉読時のものと思われます。



松平文庫人事資料が照らした

「福井藩士900家の幕末」

「剥札」と名付けられた分厚い2冊のこの古文書(写真上)。越前福井藩の藩政資料である松平文庫に残されているものです。

その内容は、福井藩家臣団約3,000家のうち中・上層(士分以上)の約900家の職務履歴で、短冊型の紙片に極小の文字で記されています。イロハ順で、同姓が複数ある場合には家格禄高順に整理されており、禄高の増減、家格の変化のみならず、とくに1851年(嘉永4)以降の各家歴代の職務内容や転役、江戸や京都・藩外への出張とその職務、改名、褒賞などが詳細に記されています。

この「剥札」に載っている藩士は、いずれも死去や隠居などによって代替わりした人物で、短冊紙片をよく見ると元は別の資料に貼られていたものを剥がして貼りかえたものであることがわかります。

いっぽうで松平文庫には、「剥札」とほぼ同様の士分以上の藩士履歴で、足羽県が廃止される73年(明治6)ごろまで書き継がれている資料「士族」(写真右)が残されています。

試みに「剥札」「士族」掲載家の内容を調べてみると、降格や改名、新規召し出しなどの事例を除くと、ほとんど連続していることがわかりました。「士族」は藩士の現役当主の人事資料で、短冊紙片を使って履歴を書きたし、隠居すると「剥札」に貼りかえていくという文書管理が行われていたことが推測されます。

こうした藩士履歴は、一般利用者から要望が多いルーツ調べに役立つのはもちろんですが、明治維新後に近代日本を支えた人材創出を解明する上でも有用と思われます。また、関連の職務や同時期に行われた人事を検索することができれば、幕末福井藩の藩政・軍事などの諸改革、殖産政策や人材登用の変化、他藩との交流などが浮かび上がってくるはずです。

当館では、「剥札」「士族」を家ごとにつなぎ、アイウエオ順に組みかえた藩士履歴の刊行を計画し、現在最初の巻(ア～エ、『福井県文書館資料叢書』第9巻、今年度末刊行予定)の編集を進めています。県内外でさまざまな関心から活用されることを願っています。



今後の開館10周年 記念行事のご案内

◆文書館月替展示

- ◎「つかって 複製シート—すぐろくと地図—」
平成24年12月21日(金)
～平成25年 1月23日(水)

◆企画展

- ◎「杉田仙十郎・定一・鈴おやこ展」
平成25年 1月25日(金)～4月14日(日)
会場:文書館閲覧室

◆文書館講演会

- ◎「豪農一家にとっての近代
—杉田仙十郎と定一夫妻—」(仮)
平成25年 3月2日(土) 13:30～15:00
定員80名(要申込) 無料
講師:家近 良樹 氏(大阪経済大学教授)
会場:図書館多目的ホール
※問合わせ・申込みは文書館まで。

◆フィアラ先生の世界をつなぐセミナー

- ◎「世界の中の『源氏物語』
—翻訳をめぐって—」(仮)
平成25年 3月9日(土) 13:30～15:00
定員40名(要申込) 無料
講師:カレル・フィアラ
(文書館副館長・福井県立大学名誉教授)
会場:文書館研修室
※問合わせ・申込みは文書館まで。

そのほか、県内自主グループと協力したパネル展を2月に予定しています。

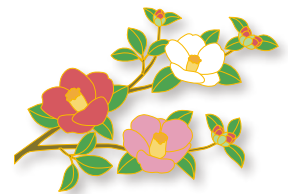
ご利用案内

- 開館時間
午前9時から午後5時まで
- 休館日
月曜日(休日は除く)
休日の翌日(土、日、休日は除く)
文書等点検期間(年間10日以内)
年末年始(12月28日～1月4日)
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)
- フレンドリーバス(無料)をご利用ください。



編集後記

たより第20号をお届けします。今号では開館10年をむかえた文書館のこれまでのあゆみを集めました。今後とも文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取組みを行っていきます。



文書館だより Fukui Prefectural Archives 第20号

2012年(平成24)12月19日発行

編集・発行/福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp



健康長寿の福井